

Cisco Business Edition 6000 および 7000 バージョン 15 (M6 アプリアンス)

目次

概要	3
プラットフォームモデルオプション	3
アプリケーション	4
ソリューションの仕様: システム容量	7
ライセンス	7
発注情報	8
Cisco サービス	8
Cisco Capital	9
詳細については	9
文書の変更履歴	10

概要

オンプレミスのテクノロジー環境を持つ顧客は、俊敏性、柔軟性、コスト効率、シンプルさに対する要件がますます高まっています。Cisco Business Edition 6000 および 7000 アプライアンスは、Cisco Collaboration アプリケーションのオンプレミス展開に簡素化されたアーキテクチャ、設計、配信、および容量計画を提供します。仮想化された Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) プラットフォーム上に構築された Cisco® Business Edition 6000 (BE6000) および Business Edition 7000 (BE7000) には、オンプレミスの通話、メッセージング、会議、コンタクトセンター、モビリティのためのプレミアム Cisco Collaboration アプリケーションが搭載されています。すべてが単一のモジュラープラットフォームにプリロードされており、コラボレーションのニーズが増大するにつれてアプリケーションをアクティブ化し、追加のアプライアンスを導入することでユーザーとデバイスを簡単に拡張できます。Business Edition 6000 は小規模なコラボレーション向けに最適化されており、Business Edition 7000 はあらゆる規模のコラボレーション展開をサポートできます。

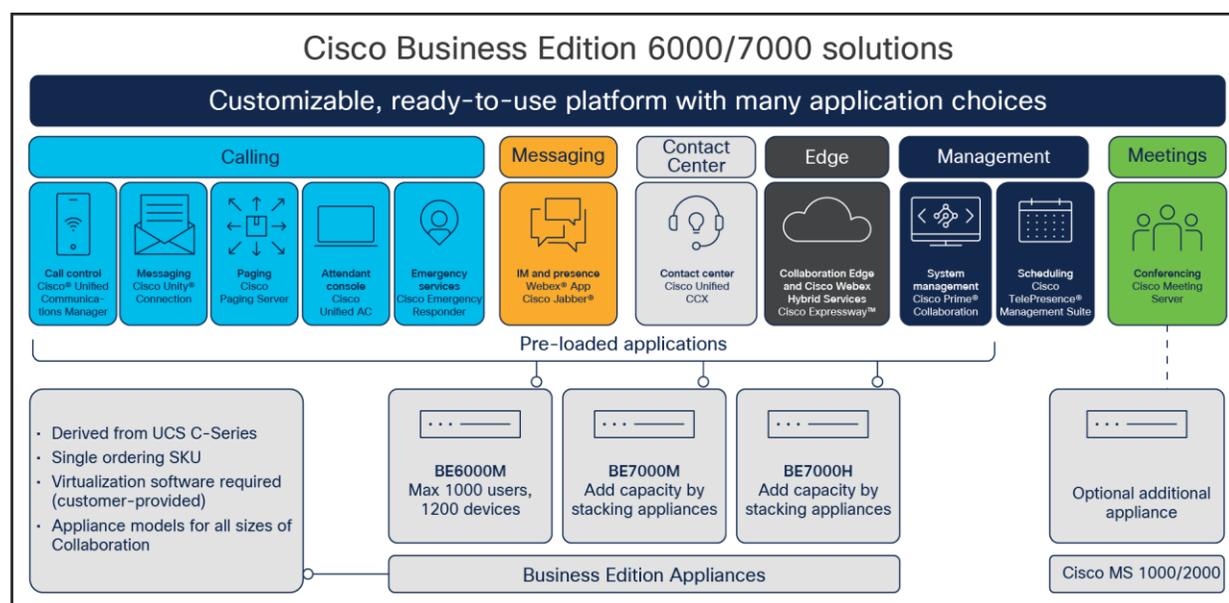


図 1. Cisco BE6000 および BE7000: 豊富なアプリケーション選択肢で導入が簡単

プラットフォームモデルオプション

以下のアプライアンス モデルが提供されています。

- **BE6000M (M6):** このモデルは、最大 1000 人のユーザー、1200 台のデバイス、および 100 人のコンタクトセンター エージェントによる小規模なコラボレーション展開をサポートします。ほとんどのベスト プラクティス設計は、2 つまたは 3 つのアプライアンスに適合します。
- **BE7000M (M6):** このモデルは、小規模、中規模、および発展中のコラボレーション展開（ほとんどの場合、500 ~ 5,000 人のユーザーと 3,000 ~ 15,000 台のデバイス）をサポートします。ほとんどのベスト プラクティス設計は、2 ~ 4 台のアプライアンスに適合します（発展に応じて必要に応じて追加のアプライアンスを積み重ねます）。

- **BE7000H (M6):** このモデルは、小規模、中規模、大規模、および発展中のコラボレーション展開（ほとんどの場合、数万のユーザーとデバイス）をサポートします。ほとんどの設計は顧客固有のものであり、複数のアプライアンスが必要になります（発展に応じて必要に応じて追加のアプライアンスを積み重ねます）。

アプリケーションのサイズを決定したら、[QuoteCollab ツール](#)を使用して導入を計画し、現在および今後のニーズに必要なアプライアンス数を特定します。

すべてのアプライアンスモデルは、Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS®) C シリーズ製品から派生しています。

仮想化ソフトウェアが必要ですが、このソフトウェアには含まれていません（「[ライセンス](#)」項を参照）。

アプリケーション

BE6000 および BE7000 プラットフォームは通常、包括的な Cisco コラボレーション ソリューションの一部として、一連のコアアプリケーションをホストします。

通話

- [Cisco Unified Communications Manager](#) (Cisco Unified CM) は、Cisco のコラボレーション アーキテクチャの通話処理エンジンです。音声とビデオの機能を、IP 電話、テレプレゼンス エンドポイント、メディア処理デバイス、ゲートウェイ、マルチメディア アプリケーションなどのネットワークデバイスに拡張します。Cisco Unified CM は、Instant Messaging (IM) and Presence Service と共に使用するために対応しています。さらに、オープンなテレフォニー API により、マルチメディア電話会議、コラボレーション型コンタクトセンター、およびインタラクティブマルチメディア応答システムが可能になります。
- [Cisco Unified Attendant Consoles](#) は、組織内の各担当者にかかってきた着信を素早く受け入れ、効率的にディスプレイパッチするためのツールを、コンソールオペレータに提供します。
- [Cisco Emergency Responder](#) は、Cisco Unified Communications Manager が発信者の場所に応じて適切な U.S. Public Safety Answering Point (PSAP) に緊急通話を送信し、PSAP が発信者の場所を特定し、必要に応じて折り返し電話をかけられるようにします。このシステムは機器の移動や変更を自動的に追跡して更新するため、法的または規制上の義務を確実に遵守し、その結果として緊急通話に関連する責任のリスクを軽減します。
- [Cisco Paging Server](#) はすべてのユーザーに対しページング機能を提供します。基本および高度なページング機能をサポートしています。基本的なページング機能はライセンスを必要とせず、最大 50 台の Cisco IP 電話のグループ間でポイントツーポイントまたはグループ音声ページングが可能です。アドバンスド ページング ライセンスでは、無制限のページング グループが許可されます。また、オーバーヘッドのアナログおよび IP スピーカーへのページング、ベルのスケジュール、呼び出し割り込みオプションによる緊急通知の優先順位付け、録音済みおよびテキスト専用ページ、通知のためのソーシャルメディアサイトとの統合、メールとショートメッセージサービス (SMS) による一斉通知と全番号の監視、緊急サービスのアラート、Cisco Jabber クライアントとの統合など、他の高度な機能も可能にします。

メッセージ

- [Webex® アプリ](#)は、通話、ミーティング、メッセージ、ホワイトボード、コンテンツ共有などの重要なチームコラボレーション機能を1つのシンプルなインターフェイスに統合し、さらに SharePoint、Box などの追加のクラウドベース ビジネス アプリケーションとも統合します。Webex は、社内のチームと顧客やパートナーなどの外部チームをつなげ、すべてのコラボレーション活動を1つの便利な場所に集約します。
- [Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service](#) は、標準ベースのエンタープライズ インスタント メッセージングとネットワークベースのプレゼンスを提供します。このサービスは安全で、スケーラブルで、管理が容易で、機能も豊富です。[Cisco Jabber®](#) デスクトップおよびモバイルのインスタントメッセージングおよびプレゼンスクライアント、および Cisco Jabber ソフトウェア開発キット (SDK) と緊密に統合されています。Cisco Jabber などのコラボレーション クライアントは Cisco コラボレーション ポートフォリオの製品を使用して、インスタント メッセージング、プレゼンス、Click-to-Call、電話制御、音声、ビデオ、ビジュアル ボイスメール、ウェブ コラボレーションなどの多くの機能を実行します。
- [Cisco Unity® Connection](#) は、音声メッセージと音声認識機能を統合しており、通話やメッセージへの継続的なグローバルアクセスを提供します。高度なコンバージェンスベースのコミュニケーションサービスにより、自然言語の音声コマンドを使用して、ハンズフリーモードで通話を発信したり、メッセージを聞いたりできます。また、メールの受信箱またはウェブブラウザから、デスクトップから音声メッセージを確認できます。また、着信通話のインテリジェントなルーティング、簡単にカスタマイズ可能な通話スクリーニングやメッセージ通知オプションなど、堅牢な自動アテンダント機能も提供します。

コンタクトセンター

- [Cisco Unified Contact Center Express](#) 製品ラインは、企業や組織がコネクティッド デジタル エクスペリエンスを提供できるよう支援します。これにより、時間とチャネルを超えて、コンテキストに応じた、継続的で、豊富な機能を顧客に提供できます。展開と使い方が簡単なこのソリューションは、中規模企業やエンタープライズのブランチ オフィス向けに設計されています。安全で可用性の高いこのサービスは、自動着信分配 (ACD)、音声自動応答 (IVR)、コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI)、およびメールやチャットを含むデジタル チャネルなど、強力なエージェント ベースのサービスと完全に統合されたセルフサービス アプリケーションをサポートします。

Edge

- [Cisco Expressway™](#) は、社内だけでなく社外でも簡単、安全、そして効果的なコラボレーションを可能にする高度なゲートウェイです。Expressway は、別の VPN クライアントを必要とせずに、モバイルユーザーと在宅勤務者にリモート アクセスを提供します。B2B および B2C コラボレーションをサポートし、サードパーティの標準ベースのシステムとのビデオ相互運用性をサポートします。Expressway はまた、シームレスな [ハイブリッド コラボレーション](#) エクスペリエンスを可能にし、オンプレミスのユニファイド コミュニケーション資産を [Webex®](#) クラウドサービスに接続します。

管理

- [Cisco Prime Collaboration Deployment](#) は、Unified Communications アプリケーションの管理を支援するために設計されたアプリケーションです。古いソフトウェアのバージョンから新しい仮想マシンへの移行、新規インストール、既存アプリケーションのアップグレードなどのタスクを実行できます。

-
- **(プリロードされていません)** [Cisco TelePresence® Management Suite](#) は、Microsoft Exchange および Microsoft 365 との統合機能を含むビデオミーティングの柔軟なスケジュール機能を提供します。Cisco コラボレーション インフラストラクチャ ポートフォリオのコアとなるこのスイートは、オンプレミスのビデオコラボレーションを促進します。Cisco Meeting Server および Cisco TelePresence Server の展開で機能します。

ミーティング

- **(プリロードされていません)** [Cisco Meeting Server](#) は、オンプレミスベースのビデオ、音声、ウェブ通信を統合し、モダン ワークスペースのコラボレーション ニーズに対応します。サードパーティのデバイスと連携し、直感的で楽しいユーザーエクスペリエンスを提供します。また、拡張が容易で、オールインワンのユーザーベースのマルチパーティ ライセンス サービスを利用できます。

さらに、Business Edition 6000 および 7000 アプライアンスは、[仮想化ドキュメントに記載されているとおり、承認されたサードパーティのコラボレーションアプリケーションの共存をサポートしています。](#)

ソリューションの仕様: システム容量

表 1 に、BE6000 および BE7000 アプライアンスモデルのハードウェア仕様と標準的なシステム容量を示します。詳細な設計ガイダンスと導入モデルについては、[「ソリューション リファレンス ネットワーク設計 \(SRND\)」](#) ガイドおよび「企業コラボレーション向け優先アーキテクチャ」、[「仮想化ドキュメント」](#) および [QuoteCollab](#) ツールを参照してください。

表 1. Cisco BE6000M、BE7000M、BE7000H モデル – ハードウェアの仕様とシステム容量

属性 (Attribute)	容量
物理ハードウェアの仕様	BE6000M (M6)、BE7000M (M6)、BE7000H (M6): https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/cisco-collaboration-infrastructure.html#HW_Example にある Cisco アプライアンスの例を参照してください。
最大容量 (ユーザー/デバイス)	BE6000M: すべてのアプライアンスにおける最大デプロイキャパシティは、1000 ユーザー、1200 デバイス、100 コンタクト センター エージェントです。 BE7000M および BE7000H: 制限は強制されません。必要に応じてアプライアンスを重ねて、アプリケーションのワークロードやより大きな導入容量に対応します。
共同レジデントのアプリケーションの最大数	アプリケーションのサイズを決定した後、 QuoteCollab ツールを使用して、必要なアプライアンスの数を特定します。 BE6000M (M6): 状況により異なりますが、通常、ベストプラクティスの設計では、アプライアンスごとに 5 ~ 7 です。 BE7000M (M6): 状況により異なりますが、通常、ベストプラクティスの設計では、アプライアンスごとに 6 ~ 8 です。 BE7000H (M6): 状況により異なりますが、通常、ベストプラクティスの設計では、アプライアンスごとに 12 ~ 15 です。

ライセンス

BE6000 または BE7000 アプライアンスには Vmware vSphere ESXi のライセンスが必要です。これは顧客自身で用意する必要があります。

BE6000 および BE7000 アプライアンスのコラボレーション アプリケーションの権利は別売りです。各顧客は、エンタープライズ契約 (EA) または指定ユーザー (NU) モデルの下で、すべてのユーザーおよび共通エリア デバイスに対して、Cisco Collaboration Flex Plan サブスクリプションを購入できます。Cisco コラボレーション フレックス プランは、柔軟な支払いオプション、通話やメッセージングからミーティングやコンタクトセンターまで簡単に拡張できる機能、クラウドへの柔軟な移行、コラボレーションの使用状況の可視化の強化など、シンプルな購入プランを提供します。詳細は <https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/collaboration-flex-plan/index.html> を参照してください。

発注情報

Cisco チャンネルパートナーおよびリセラーは、[「Cisco Business Edition 6000/7000 バージョン 15 \(M6 アプライアンス\) 向け注文ガイド」](#)を参照してください。

アプライアンスモデルを注文するには、必要な数のアプライアンスを購入し（表 2 のパーツ番号を使用）、VMware から Broadcom または Broadcom チャンネルパートナーごとに仮想化ソフトウェアライセンスを購入し、必要な機能とユーザー数に対応するためにコラボレーション フレックス プランのサブスクリプションを追加します。

注文を行うには、お近くの Cisco 担当者に連絡するか、Cisco.com にアクセスして、[Ciscoから直接注文する](#)か、[パートナーを検索](#)してください。「Advanced CollaborationArchitecture Specialization (ACAS)」または「Master Collaboration」で検索して、お住まいの地域の認定ユニファイド コミュニケーション パートナーを見つけてください。

表 2. Cisco Business Edition 7000 プラットフォームモデルの注文

部品番号	説明
BE6K-M6-K9	Cisco Business Edition 6000 Svr (M6)、輸出制限付きソフトウェア
BE6K-M6-XU	Cisco Business Edition 6000 Svr (M6)、輸出制限のないソフトウェア
BE7H-M6-K9	Cisco Business Edition 7000H Svr (M6)、輸出制限付きソフトウェア
BE7H-M6-XU	Cisco Business Edition 7000H Svr (M6)、輸出制限のないソフトウェア
BE7M-M6-K9	Cisco Business Edition 7000M Svr (M6)、輸出制限付きソフトウェア
BE7M-M6-XU	Cisco Business Edition 7000M Svr (M6)、輸出制限のないソフトウェア

Cisco サービス

Cisco Unified Communications サービスは、ネットワークでの Cisco Unified Communications の展開に関連するコスト削減と生産性向上を促進するのに役立ちます。Cisco および認定パートナーが提供する Cisco の導入およびテクニカルサポートサービスのポートフォリオは、固定およびモバイルネットワーク上の音声、ビデオ、データ、およびモバイルのアプリケーションを統合するための実証済みの方法論に基づいています。

これらのサービスに対する Microsoft の独自のライフサイクルアプローチは、あらゆるワークスペースで同僚、パートナー、顧客とコラボレーションするためのパワフルで新しい方法をユーザーに提供し、ビジネスを加速させるのに役立ちます。

詳細は <https://www.cisco.com/go/ucservices> を参照してください。

Cisco Capital

目的達成に役立つ柔軟な支払いソリューション

Cisco Capital により、目標を達成するための適切なテクノロジーを簡単に取得し、ビジネス変革を実現し、競争力を維持できます。総所有コスト（TCO）の削減、資金の節約、成長の促進に役立ちます。100 カ国あまりの国々では、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および他社製製品を購入するのに、シスコの柔軟な支払いソリューションを利用して、簡単かつ計画的に支払うことができます。 [詳細を確認する](#)。

詳細については

Cisco Business Edition 7000 ソリューションの詳細は、 <https://www.cisco.com/go/be7000> をご覧ください。

仮想ソリューションの設計の詳細は、 https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/cisco-collaboration-virtualization.html および <https://www.cisco.com/go/quotecollab> を参照してください。

Cisco チャンネルパートナー向けのリソースの詳細は、 <https://www.cisco.com/go/bepartner> を参照してください。

文書の変更履歴

新規トピックまたは改訂されたトピック	説明	日付
バージョン 15 に更新	ドキュメント全体	2024 年 9 月 18 日
更新日 ● サポート終了の通知 ● アプライアンスハードウェアの更新 ● 仮想化ソフトウェアのライセンス変更	www.cisco.com/go/be6000 のサポート情報 www.cisco.com/go/be7000 仮想化ドキュメント： www.cisco.com/go/virtualized-collaboration	2022 年 12 月 15 日



米国本社
カリフォルニア州サンノゼ

アジア太平洋本社
シンガポール

ヨーロッパ本社
アムステルダム (オランダ)

シスコは世界各国に約 400 のオフィスを開設しています。オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/jp/go/offices) をご覧ください。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/jp/go/trademarks をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)